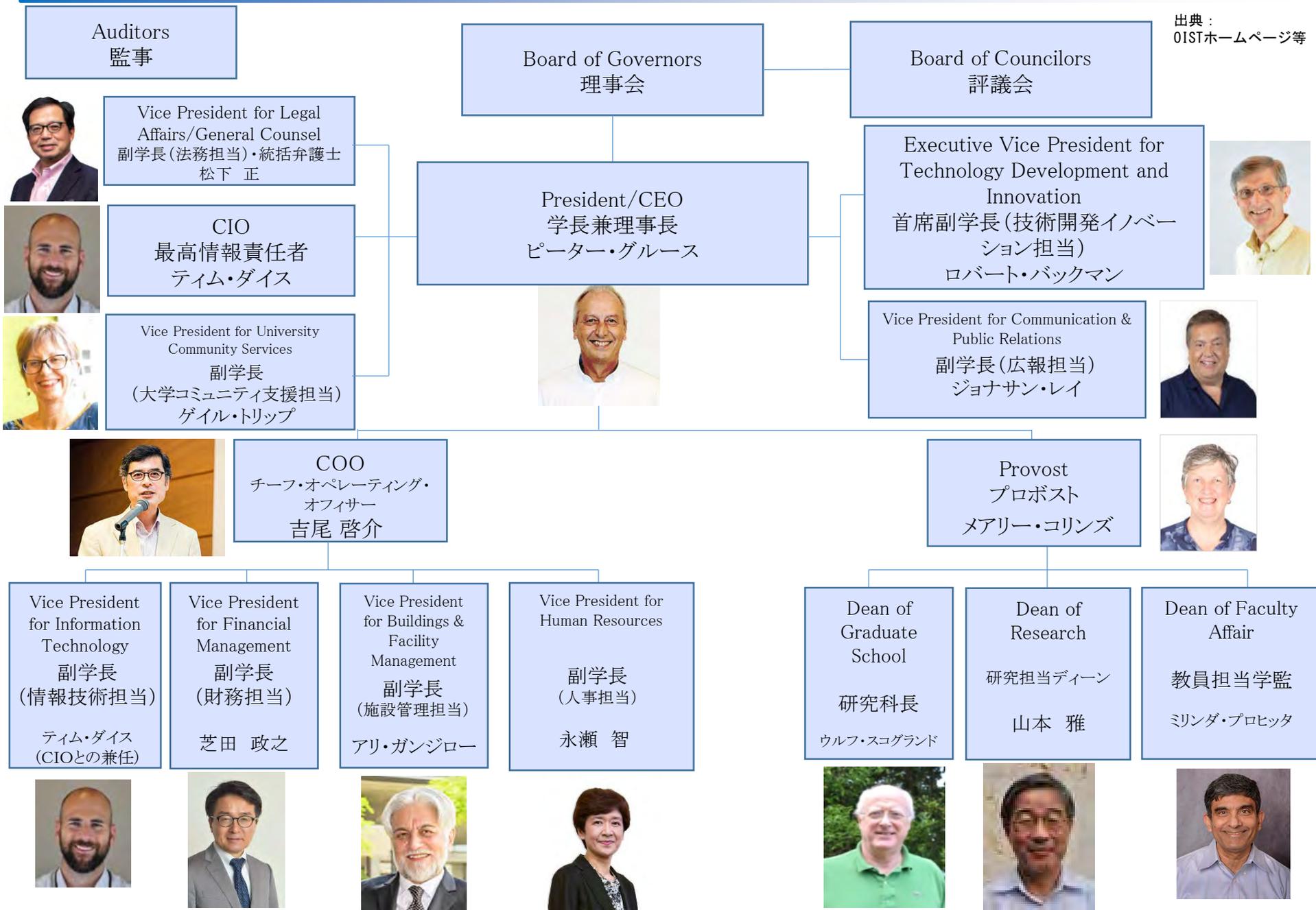


# 沖縄科学技術大学院大学学園組織図

令和2年5月時点

出典：  
OISTホームページ等

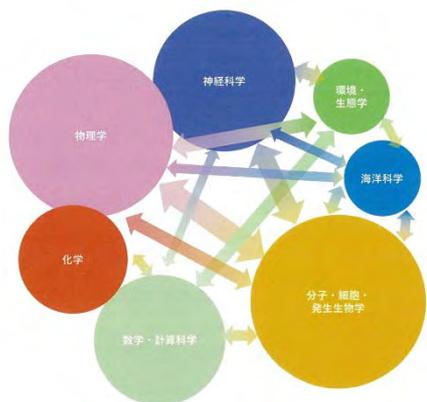


## 2. 教育研究

## 学際的研究

80の研究ユニットにより、学際的研究が行われている。

(参考) 研究ユニット間の協力関係

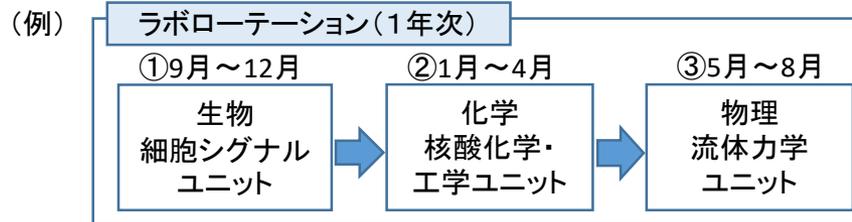


(出典) OISTホームページ

(注) 異分野間における共同研究の相対数を矢線の幅で表す。

## ラボローテーション

- 学生は、1学年次に3つの研究ユニットで学び、そのうち少なくとも1つは専門分野以外の研究ユニットを選択することが義務付けられている。

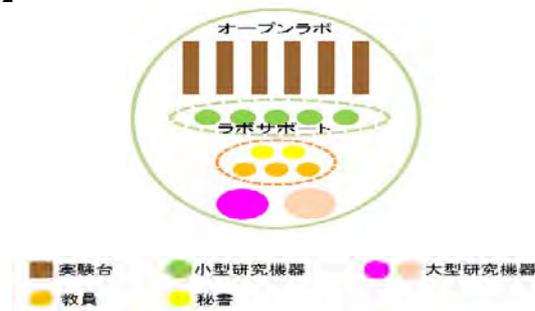


➡ 所属研究ユニット(研究テーマ)を決定。

## 研究施設

- 同じ研究棟に、異なる複数の分野の研究室を配置。
- ラボスペースは、間仕切りの少ない開放的なオープンラボ形式。

【概念図】



出典: 文部科学省「国立大学等の特色ある施設2014」

- 研究機器の共用化により、研究者の学際的交流を促進。  
※共有研究機器の割合: 72.1% (金額ベース) (令和2年1月時点)

# OISTの国際性

## 英語環境

- 教育と研究のみならず、事務処理手続きまで全て英語で実施(公用語が英語)。
- OISTIに「国際業務部署」は設けられていない。

- 研究・教育のみならず、事務処理も含めて英語が公用語となっている点は、国内で唯一。
- 英語が公用語のため、事務部門は、英語資料について必要に応じて日本語に翻訳。
- 職員は原則、ビジネスレベルの英語能力を前提に採用。

### <英語対応の状況>

外国語による授業科目【大学院】

職員の英語力

	H26年度	H35年度目標		H26年度	H35年度目標
➢ 東京大学	11.3%	→ 25.4%	➢ 東京大学	6.2%	→ 25.0%
➢ NAIST	33.9%	→ 56.3%	➢ NAIST	17.9%	→ 26.9%
➢ OIST	100%		➢ OIST	全員ビジネスレベル	

平成27年度スーパーグローバル大学創成支援事業「構想調書」

## 国際公募

- 大学の国際競争力を高めるために、国際公募を積極的に実施。
- グローバルスタンダードである9月入学の学年歴の採用により、外国人の受入れの障壁をなくしている。

- OIST Café (大学院説明会)や国内外の学生等を対象としたリサーチインターンシップを提供。

### <学生>

全245人(第1～8期生)、52の国・地域  
※令和2年5月時点(卒業生含む)

### ●主な出身大学等

カリフォルニア工科大学、ケンブリッジ大学、  
ワイツマン科学研究所、東京大学、京都大学、  
奈良先端科学技術大学院大学 等

